

INFOPRO2020 の開催形式について

COVID-19 によって学協会活動が様々に大きな影響を受けています。INFOPRO2020 においては、COVID-19 対応によって進む社会のデジタル転換を積極的かつ現実的に受け入れることにし、以下のハイブリッドスタイルを目指します。

1. INFOSTA の伝統および継続性を最大限生かします。
 - A) 発表は予稿集の発行をもって成立させます。
 - B) 予稿集は印刷媒体として発行し、希望者には有料で*配布します。また、電子版として J-STAGE にもこれまで通り登載します。
 - C) 予稿集にはスポンサー様の広告を掲載します。
2. 新たな会員層獲得に向けた PR を目的とした **INFOPRO2020Plus** を、デジタルツールの活用により行います。
 - A) 特別講演を、zoom を用いた Webinar 形式で配信し、広く集客します。
 - B) 発表予定者のうち、希望者には zoom を用いた発表の機会を与えます。
 - C) ポスター予定者には、電子ポスターを導入し、zoom を用いた発表の機会を与えて、ポスター発表を成立させます。
 - D) Web 配信の際にその開始時などにスポンサー様の言及を入れ、希望者にはプロダクトレビュー相当の PR を、zoom を介して行っていただきます。
 - E) 以上を、二日間各 3 時間程度のタイムテーブルで開催し、特別講演を除いた発表および PR の時間はその枠の中で調整することとします。
 - F) 以上は、新規会員層に向けた INFOSTA および INFOPRO の PR 活動として位置づけ、会員非会員を問わず誰でも視聴できるものとします（事前登録制）。

INFOSTA は INFOPRO2020 を通じて、学協会のもつ本質的な役割を堅持しつつ、協会の事情に合わせた現実的なデジタル転換を進めてまいります。登壇予定者、スポンサー様を始めとする関係の皆様の今一層のご理解とご支援をどうぞよろしくお願ひいたします。

登壇予定者（ポスターを含む）、スポンサー様には別途個別にご連絡を差し上げますのでよろしくお願ひいたします。

*予稿集冊子体の配布は、INFOSTA Web サイト (<https://www.infosta.or.jp/symposium-top/>) でご案内します。

以上